

きずな

SENBI

2020年4月

第2002号

《新年度（第40期）を迎えて》



代表取締役社長
中田 義秀

元号が令和に代わり、この5月で1年となります。期待と不安の交錯した胸中で新しい元号を迎えましたが、昨年の暮れから新型コロナウイルス一色の様相を呈しております。

3月中旬、WHOは新型コロナウイルスの感染拡大をパンデミックであると表現しました。感染は予想を超える勢いで広がっており、全く終息の兆しが見えない中、国においては都市封鎖など思い切った対策を講じているところも続出しています。

我が国においても、現在一日200名以上の感染者が発生するなど、緊急事態宣言の一步手前の瀬戸際の凌ぎあいとなっており、国や地方公共団体では集団活動・外出の自粛やイベント開催の自粛などを要請しています。このため人流・物流は停滞し、この状態が長期継続すれば、経済界は景気の低迷により計り知れない損失として現れるでしょう。

このような重苦しい社会情勢にあって、わが社は第39期を無事終え、全社売上額も目標額を超える6億円となりました。当該期は、消費増税、最低賃金の上昇、年次有給休暇の取得率向上そして慢性的な人手不足など、事業実績を上げるうえでマイナスな要因があった中での達成でした。

これもひとえに、社員皆様がそれぞれの仕事を確実に実施していただいたお陰であり感謝を申し上げます。

そして当社はこの4月、創業40年という節目の年を迎えました。

昭和56年4月の創業から40年間で培ってきた「株式会社センビ」の「信頼」というブランド力は、当社の掛替えのない財産となっています。

新型コロナウイルスの影響に打ち勝つべく社員皆様の力を今一度結束して、「信頼」というブランド力の下で、「スピード」、「感度」そして「挑戦」の気持ちを常に持ち、あらゆる可能性に引き続きチャレンジいただき、節目となる40期の更なる発展に力を存分に発揮してください。

挑戦し続けることによって、必ず結果は付いてくると信じています。

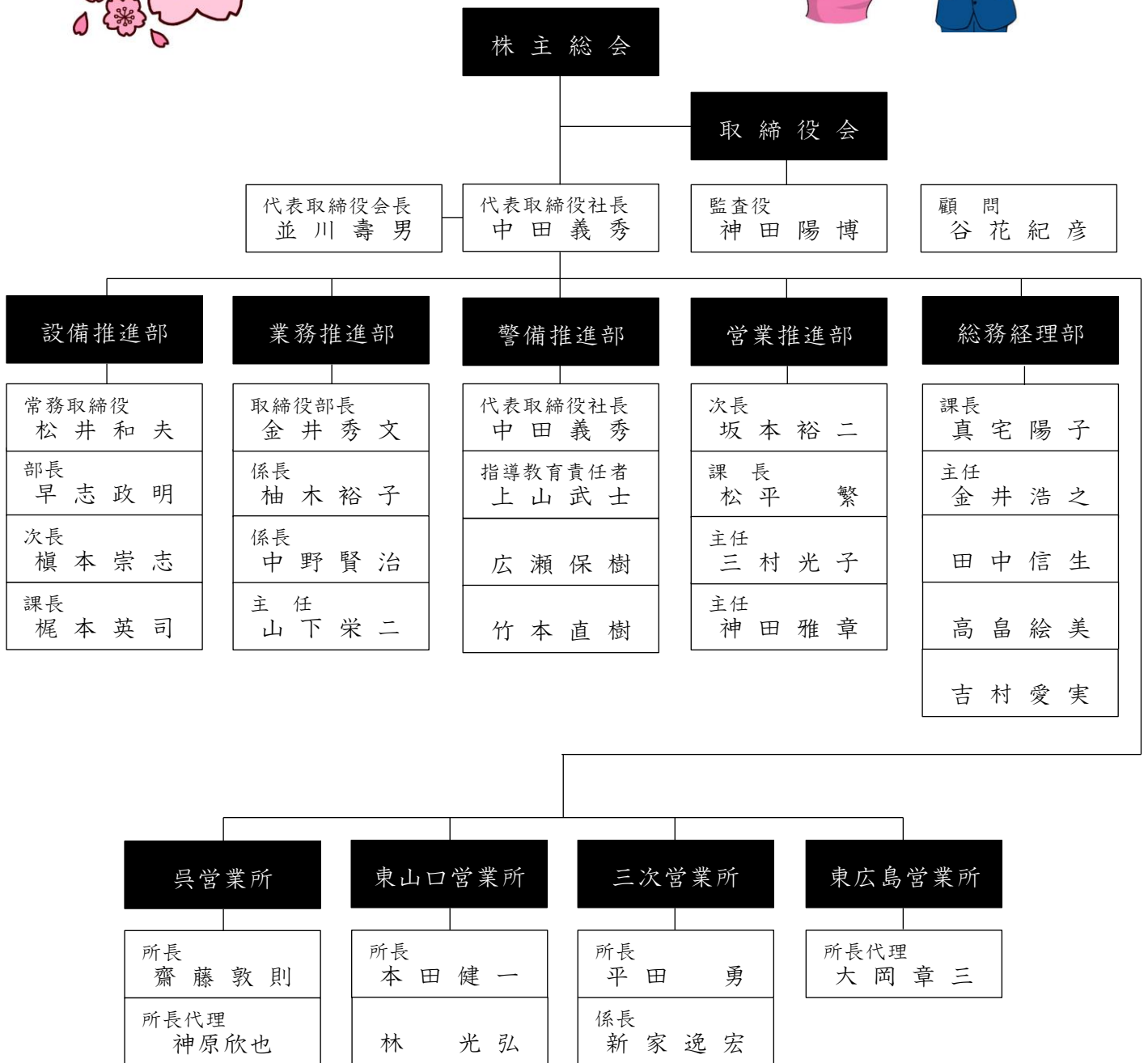
結びとして、新型コロナウイルスの影響で何かと暗い情報ばかりが目立っている現況ではありますが、明るい日差しが差し込む会社であるようこれからも職責を全うする覚悟でいることをお伝えし、40期を迎えてのあいさつとします。



組 織 図



【組 織 図】
(令和2年4月1日)



ハラスメント対策

セクハラやパワハラについては、法制化され意識の高まりを受けて社会で大きく捉えられ、被害者が声を上げるようになってきましたが、モラハラ（モラルハラスメント）は法制化されてなく、まだまだ職場や私生活の中でも放置される可能性があります。

会社では、事業所の責任としてモラハラについても他のハラスメントと同様、積極的に取り組んでいくこととし、令和2年2月19日に「ハラスメントの防止に関する規程」を改正しました。



《モラハラとは》

モラル（道徳・倫理）による精神的な暴力、嫌がらせのことを指し、具体的には次のような行為をいいます。

- 無視する
 - 組織内で仲間はずれにする
 - 陰口を言う
 - 誹謗中傷する
 - 馬鹿にしたような視線を送る、態度をとる
 - 冷笑する
 - 仕事に必要な情報を与えない
 - 過小な業務しか与えない
 - やたらとプライベートに介入してくる
- などです。

パワハラは、職務上の人間関係など職場内の優位性を背景に業務の適正な範囲を超えて、精神的、身体的苦痛を与える又は職場環境を悪化させる行為に対して、モラハラは、上下関係に関わりなく行われる嫌がらせなので、周囲が気付きにくいという特徴があります。



《モラハラの事例》

逆パワハラのモラハラがあります。新たに赴任してきた上司に対し、部下から「管理職のくせにこんなことも分からないのか」といった馬鹿にしたような態度をとるようなケースがあります。

また、パワハラ防止対策を逆手に取り、叱られて当たり前な行為をしておきながら、「これって、パワハラに当たるのではないか」と逆に上司を威嚇する行為もあります。

《モラハラに遭った時の対策》

最も重要なのは、今起きていることがモラハラなのかを知ることです。相手が理不尽な要求をしてくる、非常識な言動が目立つ、常識が通じない、こちらが論理的に話しているのに論点をずらされて話にならない、と感じたらそれはモラハラを受けている可能性が高いといえますので、対応策として①身近な人に相談する、②録音する、③相手から渡されたメモ、メール、LINEを保存しておく、などの行動を起こしましょう。

もし、あなたがモラハラの現場に遭遇したら、例えば加害者に「これってモラハラになりますよ」と冗談っぽい雰囲気ですりげなく気付かせたり、会社の相談窓口に通報してください。

「相談窓口」は、総務経理部に設けています。
※ 相談者のプライバシーは配慮されます。



安全衛生委員会 結果報告

安全衛生委員会運営規程の定めにより、次のとおり安全衛生委員会の結果をお知らせいたします。

今回の報告は、前号でお知らせした以降に開催された委員会結果です。

《第10回安全衛生委員会の結果》

- ◇ 開催日時 令和元年12月19日
- ◇ 提出議題 ○ビルメンテナンス業界の労働災害について
○冬用タイヤの交換について
○少数分散型の安全衛生管理について

《第11回安全衛生委員会の結果》

- ◇ 開催日時 令和2年1月23日
- ◇ 提出議題 ○感染症の予防対策について
○ポケットハンド歩行禁止について
○令和2年度年間安全衛生推進計画について

《第12回安全衛生委員会の結果》

- ◇ 開催日時 令和2年2月20日
- ◇ 提出議題 ○花粉症予防対策について
○人事異動期の事故防止について
○令和2年度年間安全衛生推進計画の承認について



MY介護の広場

編集後記

山菜の苦み

もうすぐ春の山菜が出回る季節となります。

フキノトウ、セリ、ワラビ、こごみ、ぜんまい、タラの芽、筍、落など春の山菜は多くあります。

山口県の山奥で育った私は、春になると父母が農作業の傍ら山菜を摘んで帰り、それがその時期のオカズの定番であったことを記憶しています。

山菜には独特の苦みや匂いがあり、子供の時代、決して美味しさも感じず、また楽しいオカズでもなく、おしろ敬遠をしていました。

それが年代を重ねて当時の父母の年代を過ぎた今、苦手であった山菜の苦み走った味が無性に恋しく、季節になると当時を懐かしんで、山菜を求めて各地を巡っています。

私のこれまでの人生において、数々の苦い経験がありました。この苦い経験こそが、良きにつけ悪きにつけ、今の私を形成するうえでの肥しとなっていることには間違いありません。過去では振り返ることを敬遠していた苦い経験が、今では良き経験として蘇ってきます。

そこに、子どものときに経験した山菜の苦みと人生の苦しみの共通点を見出しています。

皆様も、匂となったこの時期、心地よい汗を流しながら山菜採りの雰囲気味わってみては如何でしょうか。



文責 推進部N.T》